

塗装マニュアル【ミラクール 遮熱シンプルセット】

ミラクール 遮熱シンプルセット 塗装マニュアル

<注意事項>

本書とともに「塗装仕様書」をよくお読みいただき、内容を守ってお取り扱いください。

- ・気温 5°C以下、湿度が 85%以上の場合には塗装を避けてください。
- ・塗装後 6 時間以内に降雨の恐れがある場合、または結露が考えられる場合には作業を中止してください。
- ・未乾燥塗膜上に結露すると、塗膜の溶解、膨れやつやびけ等が起きる原因になりますので、結露の可能性のある場合は 6 時間前には塗装を終了してください。
- ・風の強い日は塗装を避けてください。(目安として 5m/秒以上)
- ・容器を密閉し、5°C~30°Cの室内で保管してください。冷寒時には、塗料が凍らないようにご注意ください。一度凍結した塗料は使用できません。

 **MIRACOOOL**
株式会社ミラクール
〒101-0031
東京都千代田区東神田2-8-15
03-5835-3521

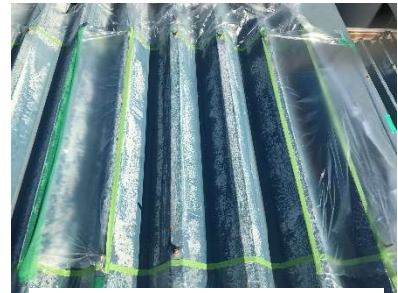
注意事項

ミラクール 遮熱シンプルセットは開封前に必ず缶をよく振る、揺らす等してください。
開封後及び希釈後は、塗料が均一になるよう十分かくはんしてからご使用ください。
塗料が均一でないと、塗膜形成や遮熱効果に影響が出る可能性があります。

【施工手順】

1) 養生

養生テープ、養生シート等で塗装面以外を養生します。
(非塗装面に塗料が付着すると、仕上がり不良の原因となります)



マスキングを使った養生

2) 素地調整・清掃・乾燥

塗装面の土汚れやゴミなどを取り除き、剥がれた既存塗膜を除去します。

- ・既存塗膜については、剥がれや浮きのある箇所を取り除いてください。金属素地へ付着している活膜は無理に剥がす必要はありません。
- ・素地調整後のゴミや土ぼこり等を水で洗い流し、十分乾燥させてください。乾燥が不十分ですと、塗料の付着不良の原因となります。



水洗風景

3) プライマーの塗装

- ① 「ミラクール 遮熱シンプルセット(プライマー)」の蓋を開け、よくかき混ぜます。均一に混ぜるまで、かくはんパドルや丈夫な棒等で十分にかき混ぜます。
- ② 均一に混ぜたら、使用する分だけ小分け用の容器に移し替え、ローラーや刷毛を塗料に浸します。
- ③ はじめに、ローラーでの塗装が難しい箇所(折板屋根のネジ部分やカシメ部分)に対して、刷毛を使ってタッチアップ塗装を行います。
- ④ タッチアップ塗装が終わったら、ローラーにたっぷり塗料を含ませて広い面にまんべんなく塗り付けます(1回塗り)。力を入れず、塗料の粘り気を利用してローラーを転がすイメージです。



タッチアップ塗装

- ⑤ プライマーの塗装が終わったら、十分に乾燥させます。塗膜に指を押し付けて指の跡が残らなければ、トップコートを塗装できます(目安：23℃環境下で4時間)。
※プライマーを塗装してから必ず7日以内にトップコートを塗装してください。

4) トップコートの塗装

- ① 「ミラクール 遮熱シンプルセット(トップコート)」の蓋を開け、よくかき混ぜます。均一に混ぜるまで、かくはんパドルや丈夫な棒等で十分にかき混ぜます。
- ② 均一に混ぜたら、使用する分だけ小分け用の容器に移し替え、ローラーや刷毛を塗料に浸します。
- ③ はじめに、ローラーでの塗装が難しい箇所(折板屋根のネジ部分やカシメ部分)に対して、刷毛を使ってタッチアップ塗装を行います。
- ④ タッチアップ塗装が終わったら、ローラーに塗料を含ませて広い面にまんべんなく塗り付けます(トップコートは2回塗り)。力を入れず、塗料の粘り気を利用してローラーを転がすイメージです。
- ⑤ トップコートの1回目の塗装が終わったら、十分に乾燥させます。塗膜に指を押し付けて指の跡が残らなければ、トップコート2回目の塗装が可能です(目安:23°C環境下で4時間)。
※トップコート2回目は1回目と同様の作業(上記の①～⑤)となります。

5) 塗装後の後片付け

ローラー等の塗装道具は、塗料が付着した状態で乾燥させないようにしてください。

塗料は水性のため水で洗い落とせますが、洗浄水は下水道に流さないでください。

余った塗料や洗浄水、塗料缶等は産業廃棄物として法令等に従って適切に処分してください。

※固まってしまった塗料は、市販のシンナー(塗料用シンナーA やラッカーシンナー)をウェス等に少し含ませて擦ると落とせます。



塗装前



塗装後

【準備していただくもの（別売品）】**■刷毛・ローラー**

刷毛は細かい部分を塗装する際に使用するので、筋交いタイプがおすすめです。

「ミラクール 遮熱シンプルセット」は水系塗料なので、刷毛はナイロン製のものが適しています。

また、ローラーは塗料の含みが良い中長毛のローラーの使用をおすすめします。

■受け皿（ローラートレイ、ローラーバスケット等）

ローラーや刷毛を浸す受け皿です。使用する塗装用具や使い勝手に合わせてお選びください。

■塗料小分け用の容器・バケツ**■かくはんパドル**

塗料缶開封後や、希釈をした際、塗料を混ぜるために使用します。

※金属製、木製の丈夫な棒でも代用できます

■ケレン・清掃用具（サンダー、ワイヤーブラシ、タワシ、高圧水洗機器、ホース、バケツ等） 塗装

面の汚れや錆の発生具合によって、準備する清掃用具を適宜選択してください。

■養生シート、新聞紙、養生テープ、マスキングテープ等**■雑巾・ウエス等**

塗装面周辺への塗料の飛散の防止、万一飛散させた際の措置のためご準備ください。

これらの道具は、ホームセンター、DIY ショップ等でお買い求めいただけます。



(参考)塗装道具一式